

## 鴨川探検！再発見！

### 第 63 弾「春の鴨川ウォーク水辺の自然観察会」報告

日時：2022 年 5 月 21 日（土）10 時～12 時

場所：鴨川北山橋左岸

天候：曇り

参加者：小学生と保護者 32 名（子供 12 名）

noi-Kyoto5 名

コロナ禍で中止になり鴨川探検！再発見！は 3 年ぶりの開催になりました。府土木事務所の駐車場でスタッフの紹介と観察会の注意事項がありました。土木事務所の花壇に一重と八重のドクダミがありました。白く花びらに見えるのは「ホウ」とよばれる葉が変形したもので、花は真ん中にある黄色い粒粒のようなもので雄しべと雌しべしかありません。この説明を聞いて、もう観察会の始まりです。鴨川へ向けて出発。北山橋左岸を下流に向かって、河川敷を観察していきました。



観察開始、興味深々



植物の名前や生態を教えてくださいました

河川敷にはシロツメクサ、アカツメクサ、チガヤ、タンポポ sp.、ハルジオン、タチイヌノフグリ、ヘラオオバコ、コゴメツメクサ、ニワゼキショウ、キショウブ、ノビル、イネ科の植物（草本）などがありました。植物のことをすごく詳しい子供たちもいてタンポポの種は風に飛ばされやすいように茎をのぼすことを話してくれました。

雨上がりのためチョウはあまりいませんでしたが、キリギリス、ヒシバタ、カタツムリなどを捕まえて見せてくれました。

エノキにエノキトガリタマフシ（虫こぶ）がたくさんあって、一つ虫こぶをあけて中の幼虫をみんなで観察。虫が大好きな子供たちが興味津々でした。



虫こぶの中にはエノキトガリタマバエの卵がありました



エノキの葉にエノキトガリタマフシ（虫こぶ）がたくさん

ナナホシテントウの幼虫や成虫を熱心に観察したり白い花を咲かせているシャリンバイの香りを嗅いだり、トベラの種子のネチャネチャを触ったり五感をつかって観察を楽しみました。

シロツメグサ、アカツメグサ、タンポポ、チガヤで花輪つくりを楽しんだり、いろんな花を摘んでアレンジメントに。

観察後、事務所に鴨川で摘んだ色とりどりの草花で思い思いにしおりを作成しました。



八重のドクダミ



白い花弁状になれず葉のままの個体



ドクダミ



ノビル



テントウムシ sp.



ナナホシテントウ



ヘラオオバコの花



タンポポのわたげがきれい



思い思いにしおり作りをしました